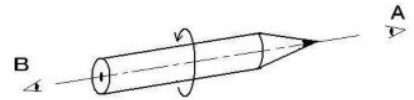


## フーコーの振り子

- (1) 北極上空から見ると、地球の自転の向きは時計回り反時計回りのどちらか。
- (2) 南極上空から見ると、地球の自転の向きは時計回り反時計回りのどちらか。

○試してみよう 鉛筆を芯の方向を軸として右図のように回転させ、鉛筆の断面方向から見る。A方向から見て時計回りだったら、B方向から見たら回転方向はどう見えるか。



- (3) フーコーの振り子を鉛直（まっすぐ上下になるよう）に持ち、あなた自身が振り子を中心として反時計回りにまわる。振り子の振動面はどのように見えるか。
- (4) フーコーの振り子を水平に持ち、あなた自身が振り子を中心として反時計回りにまわる。振り子の振動面はどのように見えるか。

---

## スペクトルの観察

- (1) 太陽光をプリズムを通してできたスペクトルを観察し、下の枠の中にスケッチしなさい。

- (2) 直視分光器で蛍光灯のスペクトルを観察し、スケッチしなさい。（スペクトル中に見られる輝線に注意して観察・スケッチを行うこと）

- (3) 直視分光器で太陽のスペクトルを観察し、スケッチしなさい。（スペクトル中に見られる吸収線に注意して観察・スケッチを行うこと）

○まとめ 蛍光灯と太陽光では、スペクトル中の色の順番に違いが見られたか。

- (4) 直視分光器でナトリウムの炎色反応の光を観察し、スケッチしなさい。

- (5) ナトリウム光源を背景にしてナトリウムの炎色反応を行うと、炎は何色に見えるか。

○まとめ 吸収線とは、その部分の光がどうなった状態と考えられるか。実験 5 を参考にせよ。